

2
お駒堂にお参り
御朱印をもらおう！

旧南部領と伊達領の境界起点
藩境の起点となった
駒ヶ岳＝古代から神の宿る山として信仰
山頂にあったものを復元



旧お駒堂(復元)



仙台藩伊達領境塚



3
口内の武家屋敷 大泉家で
武士のたしなみ 弓矢をつくろう！

旧大泉家



わんぱく集まれ！端午の節句！

5月29日(日) 午前10時～正午12時
定員 各30名(要予約)
参加料 500円

旧菅原家



4

伊達藩の菅原家で
軒端にさす
菖蒲と蓬をつくろう！

災いを祓うのじゃ～
家の軒下に飾り夜は菖蒲湯のお風呂
に入ろう！



旧菅野家



国の重要文化財指定
菅野家で

国宝級の兜を作ろう！

兜をかぶって出発！

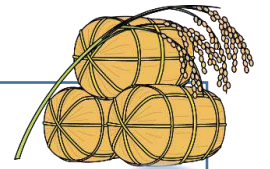
1

入口



間の沢

伊達藩の菅原家で
村の田んぼで収穫した
もち米2升 2升＝何キロ？
クイズに答えてもち米をもらおう！



5



1

スタート

5

ゴール



五月五日、今では「こどもの日」になりましたが、旧暦五月五日は「端午の節句」とよばれる男の子のおまつりでした。
旧暦五月は夏。夏至に近く、日本では梅雨にもかさなる時期でした。ムシムシしてさまざまなはやり病にもおそわれがちだったので。
宮中では薬草でつくった薬玉をかざりましたし、一般にも葉菖蒲やよもぎを軒先にさして病気におそわれないよう、厄除けをする習慣がありました。今もおふろに葉菖蒲を入れて菖蒲湯をたのしむおうちが多いはずです。
江戸時代は武士が政治をとりおこなっていた時代で、家が長く続き、さかえることが大切でした。そこで滝をさかのぼるといふ鯉の力強さにあやかろうと鯉のぼりをあげて、男の子の成長と出世を願いました。